

# 2022年度第1学期 多摩ゼミのご案内

多摩ゼミでは、学生が自主的に研究、発表、討論を行います。放送大学客員教員の指導のもと、同じテーマに興味を持つ学生同士で勉学をすすめて知識を深められる貴重な機会です。皆様のご参加お待ちしております！ ※単位の修得はありません。(新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては中止になる場合もございます)

## 「『マハーバーラタ』を読む」

講師:金沢 篤 先生(前駒澤大学仏教学部教授)

開催日程:6月2日・9日・16日・23日(全4回・木曜日)

11:30~12:30

場所:4階 多目的室(対面形式) 定員:8名

インド最大の叙事詩『マハーバーラタ』中の有名なエピソード「サーヴィトリ物語」を定評ある和訳で読みます。インド文化の根底にあるインド人の人間観・世界観などを理解する上で、恰好の体験となることでしょう。

【テキスト】「サーヴィトリ物語」(前田式子訳)『世界文学体系4 インド集』筑摩書房(1959年)。(テキストはこちらで用意します。)

## 「医療に欠かせない麻酔を知る、考える」

講師:深山 治久 先生(東京医科歯科大学名誉教授)

開催日程:4月24日・5月15日・22日・29日(全4回・日曜日)

13:30~15:00

場所:3階 ゼミ室4(対面形式) 定員:8名

歯を抜く、胃カメラで検査する、処置や手術をするなどには痛みをブロックするために麻酔を使います。麻酔は大きく分けると局所麻酔と全身麻酔に分けられます。受講者の体験も交えて、どのように使い分けしているかを糸口にして麻酔の全体を説明します。さらに、麻酔の副作用はないのか、本当に安全なのかをわかりやすく解説する予定です。

## 「近代絵画を考える」

講師:木嶋 彰 先生(拓殖大学名誉教授)

開催日程:6月1日・8日・15日・22日(全4回・水曜日)

11:00~12:30

場所:4階 講義室4(対面形式) 定員:8名

急進的な変貌を遂げた近代絵画の軌跡を概観します。

そこには画家の思想や感性を超えた地平、すなわち近代社会の光と影が垣間見えます。芸術不在と言われる21世紀、その要因を考える機会となることを願っています。

## 「能『鞍馬天狗』をよむ」

講師:姫野 敦子 先生(清泉女子大学文学部准教授)

開催日程:6月23日・30日・7月7日・14日(全4回・木)

14:30~16:00

場所:4階 多目的室(対面形式) 定員:8名

日本の伝統芸能、能を身近に感じるためのゼミです。能の台本である謡本を読んで、最後にその演目のビデオを鑑賞します。今回の曲目は「鞍馬天狗」です。『義経記』から題材をとった、牛若丸が鞍馬寺にいたときの逸話を描く華やかな能です。日本の中世の雰囲気を感じ取ってみましょう。

受付終了

# 「ことばを見つめるー日本語学への アプローチ」

講師:太田 陽子 先生(一橋大学大学院言語社会研究科教授)

開催日程:5月24日・31日・6月7日・14日(全4回・火曜日)

14:00~15:30

場所:4 多目的室(対面形式) 定員:8名

心だん何気なく使っている日本語について、気になること、興味のあることを見つけ、調べて発表してください。各自が自分のテーマを持ち寄り、先行研究と実例を調べ、自分なりの考察を報告。ゼミでは、そのテーマを受講生全員でディスカッションします。

**【受講の条件と用意するもの】**小さなものでもかまわないので、自分なりのテーマを決めて参加してください。授業日までに、自分のテーマについて調べ、簡単にまとめておいてください。

# 「AI、機械学習の名著ビショップの パターン認識と機械学習を読む」

講師:森川 馨 先生(東京多摩学習センター客員教授、国立医薬品食品衛生研究所  
名誉所員)

開催日程:4月24日・5月29日・6月19日・7月10日(日曜日)

\*以後、毎月1回(日曜日)に開講予定(全12回)

10:30~12:00、13:00~14:30

場所:多目的室等(対面形式) 定員:15名

\*遠隔地の方が参加を希望する場合は、Zoomでの同時配信も考えますが、  
学習面での不便も生じるかと思えます。ご容赦ください。

AI、機械学習を学ぶとき必読であり世界的名著であるビショップの「パターン認識と機械学習」を1年間かけて読み切ります。大学のゼミとして行うので、本物にチャレンジし勉強したいと思います。AI、機械学習を本当に理解し勉強したい方には役立つと思います。

【テキスト】「パターン認識と機械学習」上下 C.M.ビショップ 丸善出版

\*原著は Web で公開されています。

受付終了

## Zoom で開講する多摩ゼミのご案内

### 「ゲーテ『ファウスト』を読む(その4)」

講師:久保 哲司 先生(一橋大学大学院社会学研究科特任教授)

開催日程:5月13日・20日・27日・6月3日(全4回・金曜日)

11:00~12:30

開催方法:Zoomで行います。定員:8名

2021年度第2学期に引き続き、ドイツ文学の最高傑作といわれるゲーテ『ファウスト』を邦訳で読みます。今回は第1部の「教会堂」の場(273ページ)まで終えましたので、前回参加されなかった方はそこまで読んでおいてください。

今回は「ヴァルプルギスの夜」からです。

【テキスト】ゲーテ作、柴田翔訳『ファウスト(上)』講談社文芸文庫

1,540円(税込) (各自ご用意ください)

### 「『ユリシーズ』を読む」

講師:金井 嘉彦 先生(一橋大学大学院法学研究科特任教授)

開催日程:6月10日・24日・7月1日・8日(全4回・金曜日)

14:00~16:00

開催方法:Zoomで行います。定員:8名

ジョイスの『ユリシーズ』は1922年2月2日に出版されたことから、今年は『ユリシーズ』出版100年にあたる。有名な割に、難解であるために、途中で挫折することの多いこの作品の読み方を探る。

### 「プーレストを読む」

講師:中野 知律 先生(一橋大学大学院社会学研究科特任教授)

開催日程:4月21日・5月12日・6月2日・23日(全4回・木)

13:30~15:00

開催方法:Zoomで行います。定員:8名

マルセル・プーレスト(1871~1922)の『失われた時を求めて』の中から第一篇『スワン家の方へ』第三部「土地と名---名」を精読します。この箇所を論じた短い評論も合わせて読みたいと思います。

【テキスト】岩波文庫の吉川一義訳『失われた時を求めて2 スワン家の方へII』を各自ご用意ください。その(pp. 423-519)が今回の読みの対象となります。

受付終了

#### 【募集期間】

東京多摩学習センター所属学生 4月5日(火)~

他学習センター所属学生 4月10日(日)~

#### 【申し込み方法】

東京多摩学習センターにメールでお申し込みください。

受付は、先着順とし、定員に達し次第受付を終了いたします。

メール記載内容:メールタイトル「多摩ゼミ申込」、氏名、学生番号、所属学習センター、希望ゼミ名、連絡先(電話、メールアドレス)

メール送信先:tama-sc@ouj.ac.jp

【受講料】無料(但し、テキスト代等の実費がかかる場合がございます。)